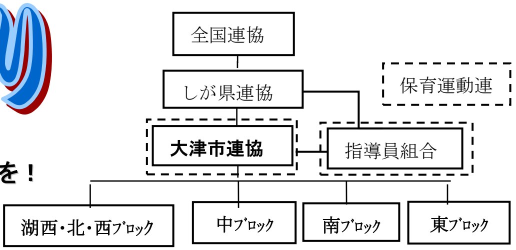
大津市内の児童クラブ保護者会からなる「大津市学童保育（児童クラブ）連絡協議会」発行
No.4― 2016. 11月 ―

市連協だより



スローガン ： 子どもたちに豊かな放課後を！

otsu_gakudo@yahoo.co.jp
http://gakudo-shiga-otsu.jimdo.com/

～活動報告～

① 10/23(日) 第２回 市連協代表者会議、県連拡大代表委員会 開催 （浜大津明日都にて）

市連協からは大津市長宛て要望書についてや児童クラブ課懇談会など近況の市連協活動報告を行いました。また、９月の議会で**瀬田東・青山児童クラブの新棟建設決定！！**など嬉しい報告もありました。指導員の先生方と保護者が手を取り合って様々な課題を取り上げ、訴えかけていくことの重要性を実感しました。

県連からは 11/13 滋賀県学童保育研究集会の案内と滋賀県への要望書の内容について報告がありました。緊急要望として子どもたちの健全育成を図るため、指導員の果たす役割は大変重要で、保育内容の質を向上させるためには指導員の専門性を高めるための研修の充実が必要である。同時に指導員が安心して働き続けることができるよう処遇の改善を早急に行ってくださいとの内容が挙げられました。

指導員組合からは、夏入所のあり方を検討してほしいという切実な思い…今後も要望として取り上げていかなければならない課題です。

会議後、越市長と懇談会を実施しました。詳細は市連協だより号外にて！

次回代表者会議は
2017年2月19日(日) 10時～
浜大津明日都にて 開催

② 10/29,30 第51回全国学童保育研究集会 in愛知

全国学童保育連絡協議会・愛知学童保育連絡協議会が主催の研究集会が愛知県で開催されました。「学童保育の制度が大きく変わったいま、保護者と指導員が力を合わせて、よりよい学童保育をつくりましょう」ということで２日間にわたって語りあい、学びあう集会として毎年開催されています。今後の運動の重点課題として以下の８点が挙げられています。

① 「省令基準」と「運営指針」を足がかりに、学童保育の量的・質的拡充を図り改善を進める
② 学童保育の役割に応える指導員の仕事を確立する
③ 職務にふさわしい資格、養成制度の抜本的改善を求める
④ 「子どもをまんなかに」保護者と指導員の協働による学童保育づくりをすすめる
⑤ 連絡協議会の組織強化に取り組み、父母会(保護者会)活動の活性化の道を切り開く
⑥ 『日本の学童ほいく』の活用と普及拡大を進める
⑦ 東日本大震災で被災した学童保育への支援をすすめる
⑧ 「平成 28 年熊本地震」からの復興を支援する

行政・議会・地域の幅広い層との連携を追求しながら、上記重点課題を実現させましょう！！

10/29(土)：全体会：13:00～16:50 愛知県体育館
10/30(日)：分科会 9:30～16:00 金城学院大学にて

研究集会の資料をご覧になりたい方は、事務局までご連絡下さい。

《スポーツ交流会を終えて》

大津市立 37 児童クラブが６会場に分かれて、ドッジボールを中心とした「スポーツ交流会」が各ブロックで開催されました。参加は自由ですが、スポーツを通して自分の力を発揮し、お互いを認め合い、仲間関係が広がるよう、ブロック内で交流することを目的としています。

今回は 10/22(土)に実施された北ブロック(仰木の里東小学校運動場にて)：堅田・仰木の里東・真野北・仰木・仰木の里・雄琴の６つの児童クラブのスポーツ交流会の模様をご報告させていただきます！！

北ブロックでの種目はドッチボールと玉入れでした。小ドッジ(1,2 年)と大ドッジ(3 年以上)とに分かれて、チーム編成されています。小ドッジは…それはそれは可愛らしい姿！！でも、みんな必死にボールに食らいついていく姿がとても印象的でした。一方、大ドッジはやはりお兄さんお姉さん！！本格的な戦いでどのコートも白熱し応援にも熱が入ります。みんなとてもカッコよかったです。
また、玉入れは全学年で頑張る姿が微笑ましかったです。スポーツ交流会はみな怪我することなく無事終了、子どもたちの楽しかった！！の一言が印象的でした。保護者の方々も、普段見れないこどもたちの姿を見ることができて充実した一日だったのではないでしょうか？

“来年もまた会いましょう“ということで、里東児童クラブの田中先生にスポーツ交流会の感想をお聞きしました。温かいお言葉、ありがとうございます！

楽しかったね交流会

仰木の里児童クラブ(指導員)　田中志保先生

「もっとドッジボールしたい！」スポーツ交流会を終えたばかりの子どもたちは最高の笑顔で指導員に話しかけてきました。「参加どうしょうかな？」と悩んでいた子もいましたが積極的にボールをとる姿、楽しそうに逃げる姿、一生懸命に応援する姿などがみられ、勝ち負けにとらわれず、皆にとって楽しい大会になりました。スポーツ交流会に向けて児童クラブの放課後では「練習しようよ」と上級生が呼びかけ、数名から始まったドッジの輪は日々広がっていきました。低学年のドッジに高学年が入ってくれた時は「〇〇くん(４年)のボールを僕はとったで！」「私は、一回もあたらんかった！」などと子どもたちは嬉しそうに話してくれて「それは、すごいな～」「よかったな～」と一緒に喜び「明日もしようよな」と一人が言うと「うん、僕も！私も！」と気持ちが繋がり、当日参加する子もしない子も一緒に練習を楽しむことができました。スポーツ交流会の後、異年齢の交流や仲間意識が深まり、様々な集団あそびに活気がでてきています。
先日も北ブロック参加トロフィーを眺めながら「来年は、全部勝ちたいな」「玉入れで違う色の玉があって入れたんやで」「保育園の親友に会ってん」などと思い出話がでて、子どもたちの心に残る行事であることを改めて感じました。保護者の皆様、あたたかい応援をたくさん頂き、ありがとうございました。

署名のお願い

“こどものための予算を大幅に増やし安心できる保育・学童保育の実現を求める請願書”として衆議院・参議院議長あてに、県連協・市連協から今年度も署名に取り組みます。

＜請願事項＞

1.　国の責任で認可保育所等を整備し、待機児童を解消して下さい。
2.　保育の環境、基準を改善して下さい。
3.　保育士などの賃金、配置基準を改善して下さい。
4.　保育料を引き下げてください。

ご協力、宜しくお願い致します！！